

これからの 大学の あり方

2022年3月12日(土)

13:00~15:00

オンライン配信方式 YouTubeライブ配信

URL: <https://youtu.be/RKbqx4hJCHI>

— 新型コロナウイルス感染症への対応で見えた課題と今後の展望 —

あり方

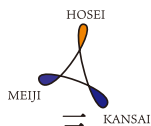


新型コロナウイルス感染症への対応は前例がなく、各大学困難を強いられました。しかし、オンライン授業への移行、オンライン留学の実施、オンライン会議の導入等、さまざまな対応を行うなかでこれからの大学のあり方について、新しい道筋を見出すことができました。

そこで、今回のシンポジウムでは、各大学の新型コロナウイルス感染症への対応の中で見えた課題と今後の展望について報告を行い、これからの大学のあり方について議論を深めます。

参加費無料

予約不要



これからの 大学のあるべき姿

—新型コロナウイルス感染症への対応で見た課題と今後の展望—

参加費無料

予約不要

日時

2022年3月12日(土) 13:00~15:00

開催形態

オンライン配信方式 YouTubeライブ配信 (配信会場: 明治大学内)
URL: <https://youtu.be/RKbqx4hJCHI>



プログラム

- 開会の挨拶
- 講演1 「メディア授業の活用とオンライン留学の可能性」 大六野 耕作 明治大学 学長
- 講演2 「学生の〈学びへのコミットメント〉を深める大学のDXを目指して」 廣瀬 克哉 法政大学 総長
- 講演3 「DXで広がるGlobal Smart Campus -COIL/Virtual Exchangeと留学-」 前田 裕 関西大学 学長
- ディスカッション パネリスト: 廣瀬 克哉・前田 裕・大六野 耕作
コーディネーター: 上野 正雄 (明治大学 副学長)
- 閉会の挨拶

パネリスト紹介



大六野 耕作 Kosaku Dairokuno
明治大学 学長

1954年、福岡県生まれ。1977年明治大学法学部卒業。同大学院政治経済学研究科博士後期課程単位修得退学。専門は比較政治論。政治経済学部長や副学長(国際交流担当)等、数多くの要職を歴任。また、デューク大学、ノースイースタン大学、ラオス国立行政学院、ラオス国立大学でも教鞭をとるなど、国際的にも活躍。明治大学体育会ラグビー部の部長を長年務めた。



廣瀬 克哉 Katsuya Hirose
法政大学 総長

1958年奈良県生まれ。1981年東京大学法学部第三類卒業。同大学院法学政治学研究科修士課程修了後、1987年同大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学、同年法学博士学位取得。1987年法政大学法学部助教授、1995年同教授。学部長、副学長、常務理事などの数多くの要職を歴任。専門分野は行政学・公共政策学・地方自治。



前田 裕 Yutaka Maeda
関西大学 学長

1956年大阪府生まれ。1979年大阪府立大学工学部卒業。1981年同大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。工学博士。1979年大阪府立高等学校教諭。1988年より関西大学で教鞭をとる。システム理工学部長、研究支援、社会連携、国際、担当の副学長などを歴任。専門はコンピュテーショナル・インテリジェンス。

法政大学・明治大学・関西大学 三大学連携協定について

法政大学・明治大学・関西大学は、いずれも1880年代に創立され、東京と大阪という都市部に位置する私立の総合大学です。そして、わが国近代化の羅針盤となるための法学教育をルーツとし、「日本近代法の父」と呼ばれたボアソナード博士がそれぞれの設立時に強い影響を与えているなど共通点を見出すことができます。

この協定は、三大学が連携協力して教育研究活動の一層の充実と質の向上を図り、学術の発展と有為な人材の育成に寄与することを目的としており、連携協力事項については、教育・研究のほか、産学連携、地域社会への貢献、学生の交流など多岐にわたっています。